



南戸塚中だより 12月号



令和5年12月21日

年の瀬を迎えて

校長 鈴木 博道

今年も残すところ10日あまりとなりました。

学校では今年、各授業や学校行事でコロナ禍以前の活気もどってきました。先日の土曜参観にも多くの保護者の皆さまにご参観いただきましたが、保護者や地域の方々を学校にお迎えしたり、生徒たちが地域の行事に参加したりする機会を増やすことができました。

これから年度のまとめの時期に入ります。学校では教育活動の振り返りを行うとともに、次年度に向けた準備も進めてまいります。さらに魅力ある南戸塚中学校の実現に向けて、来年も引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

校庭での全校集会

コロナ後では久々の校庭での全校集会となりました。広い校庭で気持ちよく、思い切り声を出して校歌を歌うことができました。この日は盛りだくさんの内容でしたが、その中の1つとして、生徒会本部が考えた〇×クイズを全校で行い、答えが〇なのか×なのか考えて行ったり来たりし、わいわいしながら正解を求めて移動し楽しむことができました。南戸塚中学校にちなんだ問題も出題されていました。生徒会の皆さんの企画によりみんなで盛り上がったひとときでした。



あずま屋がきれいになりました

地域コーディネーターさんの企画により、あずま屋を修繕しました。コーディネーターさんの他、地域の方4名が来てくださり、屋根のコケを落とし、磨きをかけ、下地とペンキを塗り新しくなりました。剣道部の生徒たちが大勢手伝いをし、やすりで柱やベンチを磨いて汚れを落としたり、池や庭の枯葉を箒ではいて掃除をしたりしました。みんなでやると作業がどんどんはかどり、地域の方にも喜んでもらえました。ペンキを塗り、みちがえるようにきれいになりました。皆さんが気持ちよく利用できる憩いの場所になりました。



職業講話(1年生)

本校のキャリア教育の一環として、11月30日(木)に本校にて職業講話が行われました。来校したのは、11職種、計19名の講師の方々です。前半グループ、後半グループに分かれて、一人ひとりが事前に選んだ2職種の講話をお聞きしました。各講話では、実演・体験を交えながら、その職業のことやご自身の経験談などについて、講師の方々がお話をしてくださいました。生徒たちは真剣かつ興味をもって講話に臨み、「働くこと」や「自分の将来」について考えを深めることができ、大変貴重な時間となりました。



<生徒の感想(抜粋)>

もともと働くことは「辛い」「大変」などといったネガティブなものだと思っていたけれど、講話を聴くと全員がその仕事に誇りをもって楽しんでやっていると感じた。働くということはネガティブなものじゃなくてポジティブなことなんだと思えた。そして自分も将来「働く」ということをすると思うけど、その仕事に誇りをもって、充実した生活をするために働きたいと思った。お金や生活するために働くだけではなく、自分の生活を充実させるために働くという意味があると思った。これからは、自分の生活を充実させるために勉強を頑張って、将来したいことへの道を拓けていきたいと思う。働くには体力も必要だと思ったので、部活も頑張っていきたいと思う。

職場体験(2年生)

1年生職業講話と同日の11月30日(木)に190名近くの2年生生徒が地域の商店、公共施設、学校、保育施設、飲食店など45の事業所に協力をいただき、4年ぶりとなる「職場体験」に参加しました。

生徒たちからは自分の将来について真剣に考えるきっかけになった、人の役に立つ仕事をしてみたい、初めは不安ではしかなかった、おじぎの角度まであるなんて…などの感想が聞かれました。この貴重な体験が将来の進路を考えるきっかけになり、職業選択の可能性が広がってくれたら幸いです。



ふれあいコンサート

12月2日(土)に下郷小学校において南戸塚中学校区学校家庭地域協働事業の「ふれあいコンサート」が行われました。出演したのは、プログラム順に「南戸塚小学校バトン・ダンスクラブ」「下郷小学校特設合唱クラブ」「千秀小学校和太鼓クラブ」、そして南戸塚中学校の「合唱部」と「吹奏楽部」です。当日は児童・生徒、保護者、学校職員、地域の皆様の約400名の方々が集まりました。児童生徒たちは、大勢の方々に見守られながら日頃の練習の成果を十分に発揮し、圧巻のパフォーマンスを披露しました。文化芸術を通して地域の方々との親睦を深められ、大変楽しい時間となりました。



南戸塚中学校「新」人権標語：「花咲かそう 僕らの価値は 無限大」 塩川 彰悠さん(2-1)の作品